

出石町大人のまちづくり プロジェクト

清心・出石町活性化チーム

ノートルダム清心女子大学

2019年7月27日（土）

【現状分析】岡山市出石町地域の潜在的な魅力・可能性が引き出せていないことが課題



これらの魅力の有機的な連携ができておらず、十分に引き出せていない

【活動目的】☆出石町の魅力を女子大生の観点から再構築し、大人が何度でも訪れたいまちづくりを目指す

- ターゲットを大人（大学生～）の女性に絞り、一人でも友人・恋人とでも訪れたいようなまちづくりの仕掛けを実践
→まちの良さを認知してもらうことで、まちとのつながりをつくり、リピーターになってもらう
- 出石町の自然や景色、落ち着いたレトロな雰囲気から“温かいまち”というブランド・イメージの演出が効果的だと感じた ⇒ “大人がホッとできる温かいまち”
→ポテンシャルを持っている出石町界隈に新しい魅力を加えることによって、岡山のまちの魅力の底上げを図ることにつながる

【具体的な活動内容、期待できる効果】

- ① 歩いて街並みを楽しむ「たまりBAR」「たまり茶屋」を昼～夕刻にかけて開催（2日間）
 - ・周辺のカフェとコラボ→コンテンツの工夫により、魅力を知ってもらうきっかけとなる（行動）
 - ・歩いてもらうしくみとして、店頭に飾り付けをしてもらう
- ② イベントのPR
 - ・出石町のロゴを使ったコースターを作成
 - ・認知されているカフェや古着屋に可能であれば協力してもらいSNSやちらしでPR（認知）
- ③ 岡山芸術祭、ストライプマルシェとのコラボ
 - ・出石町への動線作り（ミズベリング）→コラボイベントで異なる魅力を演出（関心）
- ④ 店舗運営
 - ・空き家や空きスペースの活用
 - ・ワークショップの可能な小物店
 - 持続可能な店舗運営で「居場所」を作る（関係構築）

協働体制

【今までの活動】

- 6/11 ストライプ様訪問・相談
- 6/17 後楽園門前まち復興舎様（以下復興舎様）と相談
- 7/12 岡山河川事務所様訪問・相談
- 7/17 復興舎月例会に参加・協力のお願い
- 8/2 復興舎様と打ち合わせ（予定）
- 8/7 復興舎様理事会に参加（予定）



【課題】

- ・ プロモーション戦略を工夫して、うまく話題をつくることができるか
- ・ 店舗運営の現実性、時間消費の方法
- ・ 持続可能なしかけ作り

認知⇒つながり⇒リピーター

出石町の魅力
認知と関心の
喚起

店舗でのPR
(リアル)

SNSでの情報発信
(ネット)

イベント参加
で行動を引き
出し、つなが
りをつくる

たまりBAR、たま
り茶屋

岡山芸術、マル
シェとのコラボ
(イベント)

居場所の提供
と接点の実現
でリピート⇒
定着

ワークショップが
可能な小物店の経
営・3ヶ月程度
(継続・居場所作
り)



ORBAL



oyau 商店



SHOP (IZUSHI)

リーヒルズ

3



天神山文化プラザ

テラヤマ化粧品店

伏見稲荷
石関緑地
荒神社

Google

【目標】

一過性ではない、若い女性の新しい居場所を出石につくり、後楽園観光など他の地域資源と接続することで持続可能な（大人の）賑わいをつくる